

100段階プロジェクト

100段階プロジェクト美しが丘中部アセス委員会遊歩道ワーキンググループ

シリーズ「たまプラまち歩き」

たまプラーザ周辺をぶらっと歩いてご紹介する動画「たまプラまち歩き」シリーズの配信。

シリーズ「たまプラまち歩き」#03

🕒 2020.11.13

たまプラーザ周辺をぶらっと歩いてご紹介する「たまプラまち歩き」。シリーズで随時アップしていきます。

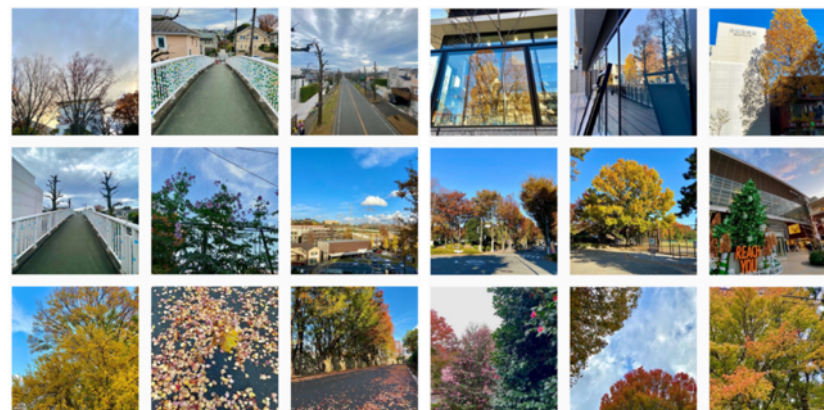


写真館『たま+ナッパ』（たまプラ・スナッパ）

まちの素敵なスナッパ写真を紹介する新コーナー『たま+ナッパ』がオープン。

季節ごとにさまざまな表情を見せてくれるたまプラーザ周辺のまちの風景・情景・光景etc.を募集、インスタで写真投稿を呼びかける。

掲載作品を投稿してくれた方には、まちのコインを「1000プラ」（1000コイン）プレゼント。

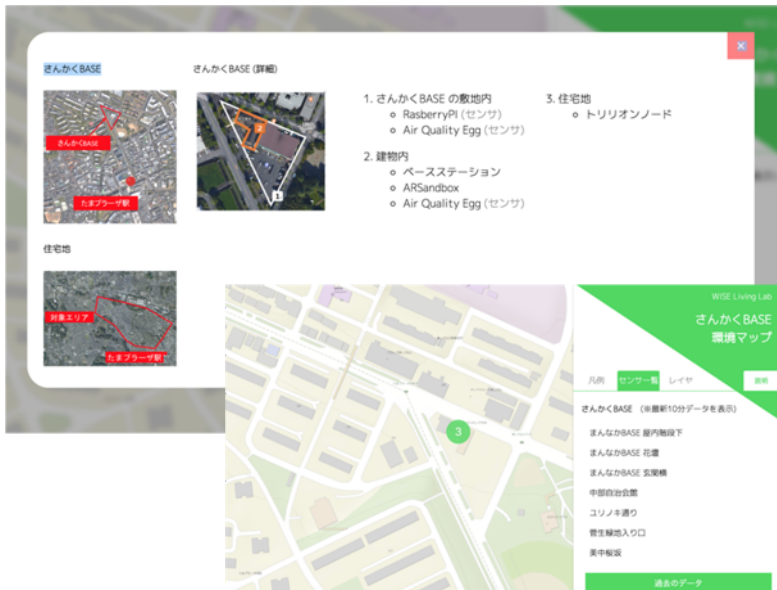


100段階プロジェクト

100段階プロジェクト美しが丘中部アセス委員会遊歩道ワーキンググループ
×アドソル日進×慶応SFC厳網林研究室

まちの環境しらべ

「慶應義塾大学SFC 厳網林研究室」と「アドソル日進」の協力のもと、まちの各所に環境センサーを設置し、ポイントごとに温度・湿度・照度・気圧・CO2・NO2等を測定。通信回線により、リアルタイムで場所や時間による環境条件の変化をモニタリング。マップで各ポイントのデータの見える化を実現。



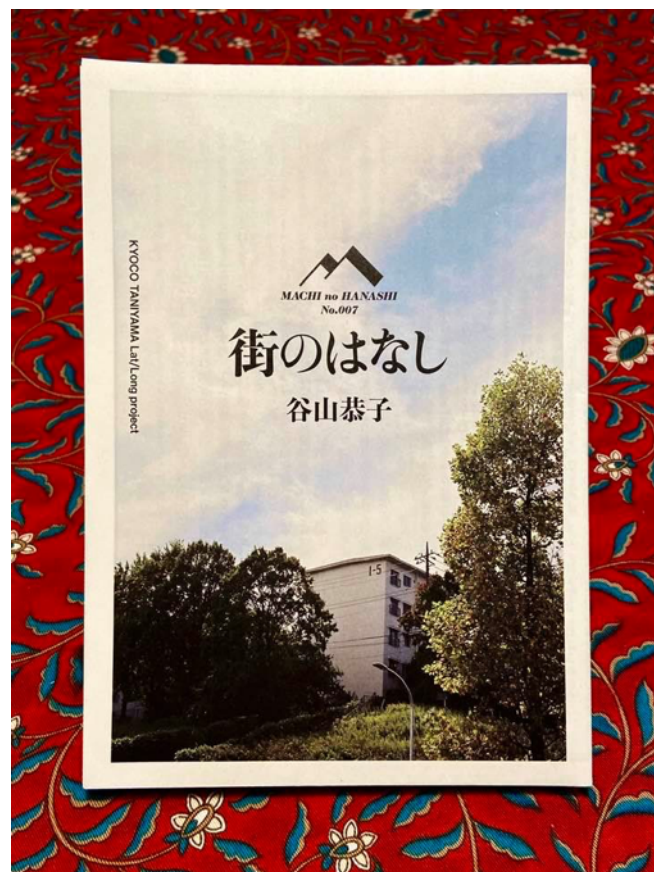
トコロジスト養成講座

講師は日本野鳥の会の箱田先生。
初回テーマは「たまプラーザのトコロジストになろう」地図の見方、その活用法、記録のまとめ方などを学びました。



「街のはなし」プロジェクト

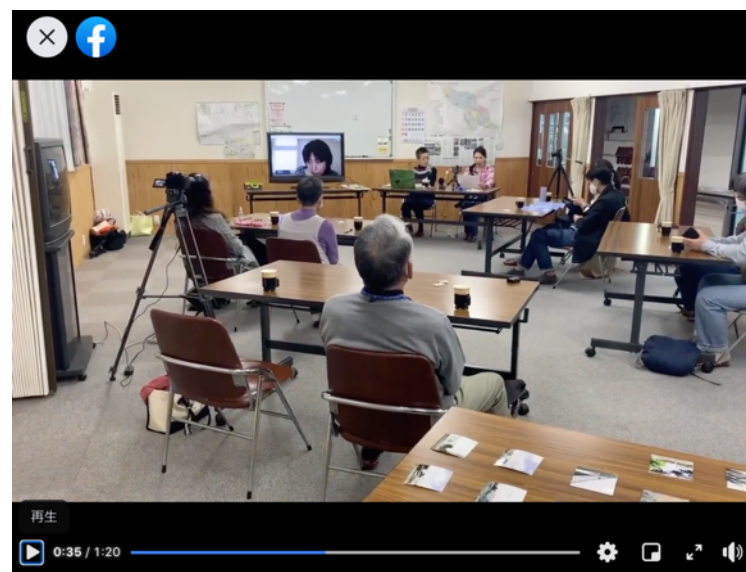
「街のはなし」実行委員会



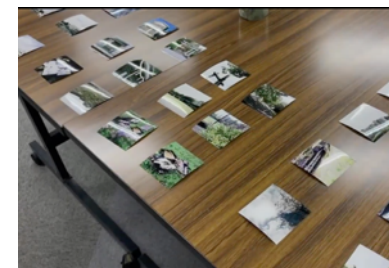
まちの人が

まちへの想いを綴る「まちの歴史」

「街の中であなたの一番好きな場所はどこですか？」という質問からはじまるインタビューとその場所の写真を緯度・経度を地図におとし、冊子にするというアート活動。

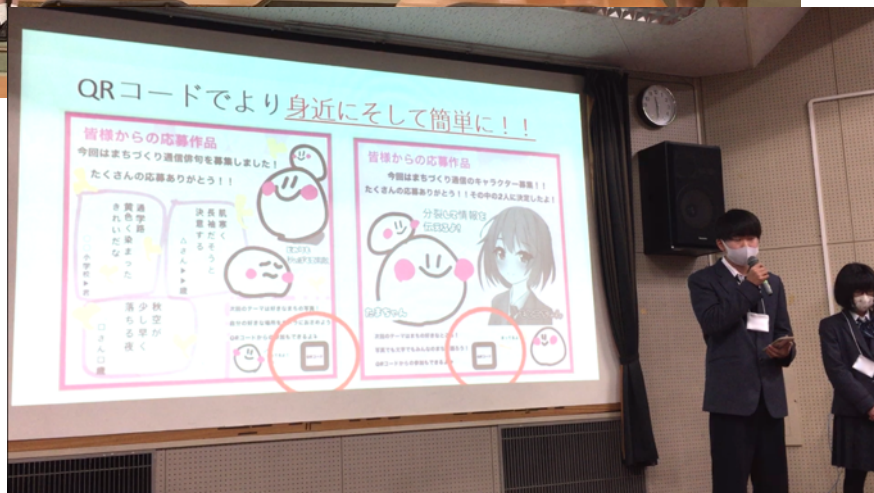
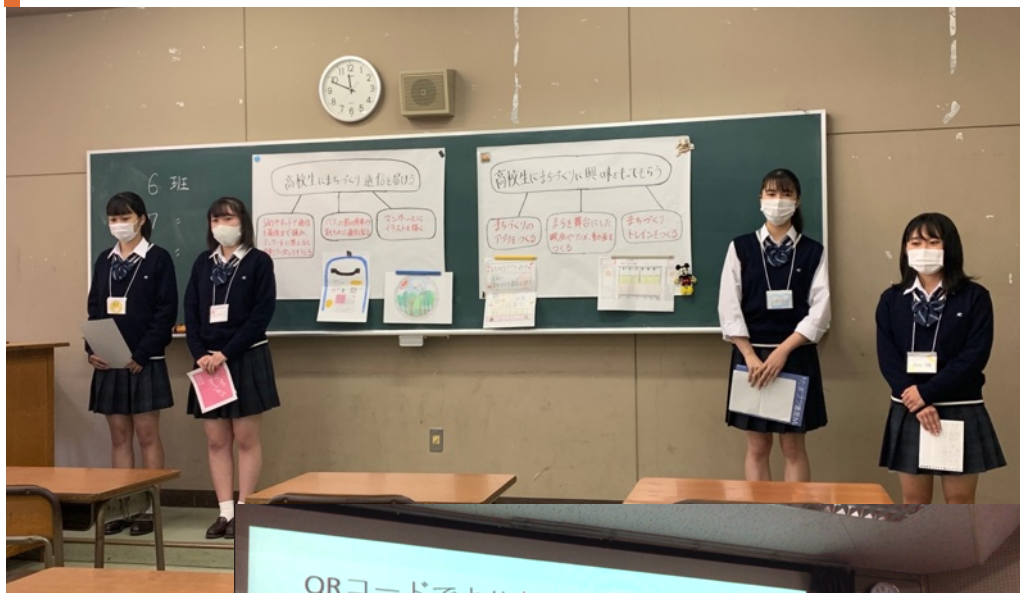


●11月22日（日）
写真選考＋朗読会はオンラインと会場と併設開催



元石川高校アントレプレナーシップ講座

神奈川県立元石川高校



高校生の目線で

「まちづくり」を考え、提案する

アントレプレナーシップ講座は神奈川県モデル事業として、高校生が地域や社会の中で課題を見つけ、企業や地域の人とともに課題解決のアイデアを考え実践し、アントレプレナーシップ（起業）する力を養うことを目的とする講座。

昨年度に引き続き、次世代郊外まちづくり事務局が本講座のパートナーとして取り組みました。

なぜ高校生に「次世代郊外まちづくり通信」が届かないのか、なぜ高校生にまちづくりに関心を持ってもらえないのか、という2つの目線から様々な分析・提案がありました。

講座終了後、有志によるスピンアウト企画を実施。

元石川高校アントレプレナーシップ講座 スピニアウト企画

神奈川県立元石川高校



高校生のアイデア・提案をカタチに 元石川高校コラボ特別号の制作

元石川高校アントレプレナーシップ講座の終了後、提案した内容を実現させたいと有志の生徒12名が参加し、スピニアウト企画を実施。

それぞれの実現させたいアイデアを持ち寄り、企画会議ワークショップを通して通信の内容を検討しました。

制作した通信は、元石川高校の全生徒に配布される予定です。



「可動型ネクサス：デザイン先導型都市 食料・水・エネルギー管理のイノベーション」 M-NEXプロジェクト

慶應義塾大学情報環境学部・政策メディア研究科
厳網林研究室

たまプラーザのまちづくりネットワークの可視化と持続可能な都市デザインの提案

世界6都市で進められる国際プロジェクト「可動型ネクサス：デザイン先導型都市食料・水・エネルギー管理のイノベーション」（通称 M-NEX：The Moveable Nexus:Design-led urban food, water and energy management innovation in new boundary conditions of change）の一環として、大都市における食料・水・エネルギーの視点から見た持続可能な都市（SDGs）の実現プログラムを提案する。毎年行われるデザインワークショップで各国の研究成果を共有してきたが、今年度の活動は全てオンラインで行われた。



●デザインワークショップ
（オンライン）で発表され
たデトロイトチームの
Actornetwork



●横浜市北部市場の「FOOD」
に関するフィールドワーク

ペットの地域防災

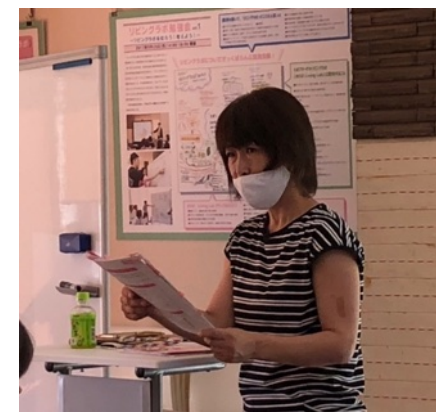
ペットホームケアえるそる

ペットと暮らしやすいまちづくり 共に助け合う地域の仲間づくりをめざして

ペットの飼い主が災害に備える意識を高め、地域においても災害時の避難所設営時にペットに対応できる体制をつくることを目指す。

横浜市の策定する「ガイドライン」を読む会を開催し、まずは自助の備えについて考えるきっかけを作る。また、ペットとの生活の悩みや、解決方法を共有するコミュニティづくりを進める。

集う活動が難しい中、災害時のペット対策ガイドラインを読む会をオンラインで11回、WLLで1回開催。



31, 2020 AT 6 PM UTC+09 - 7 PM UTC+09

横浜オンラインdeガイドラインを読む会 7/31